

# 技能者の処遇改善

全庄連

全国コンクリート庄送事業団体連合会（佐藤隆彦会長）は、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で第12回通常総会を開き、2023年度の事業計画書や収支予算などを報告した。



あいさつに立った佐藤会長は、建設業界で建設キャリアアップシステムの登録者が100万人を超えたことに触れ、「建設技能者の処遇改善のため、登録を二層推進する」と話した。写真。また、24年4月からの時間外労働時間の上限規制が迫る中で「庄送業に不可欠な回送の時間を含めると想定外の労働時間に収まっていないのが現状。現場で働く人の総労働時間を減らす取り組みを進める」とした。

23年度の事業計画書には、重点施策として全庄連組織の拡大・強化、適正な庄送工事原価の確保など7項目を盛り込んだ。（5・29）